

## 必ず受けてたい5つのがん検診

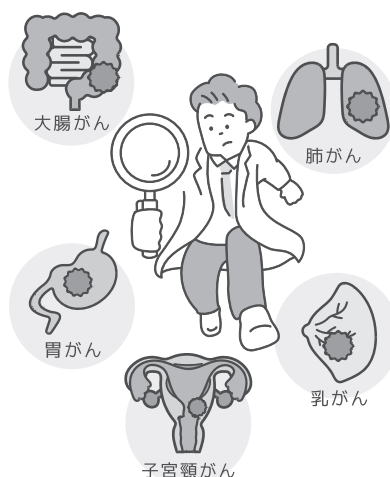
| がん検診の種類 | 検診方法                                    | 性別・推奨年齢                             | 検診間隔                       |
|---------|-----------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|
| 大腸がん    | 問診、便潜血検査                                | 男女・40歳以上                            | 毎年                         |
| 肺がん     | 問診、胸部X線検査                               | 男女・40歳以上                            | 毎年                         |
| 胃がん     | 問診、胃部X線検査もしくは<br>胃内視鏡検査                 | 男女・50歳以上<br>※胃部X線検査は40歳以上に<br>対し実施可 | 2年に1回<br>※胃部X線検査は毎年<br>実施可 |
| 子宮頸がん   | 問診、視診、内診、子宮頸部細胞診もしくはHPV検査(自治体が導入している場合) | 女性・20歳以上<br>※HPV検査：女性・30～60歳        | 2年に1回<br>※HPV検査：5年に1回      |
| 乳がん     | 問診・マンモグラフィ                              | 女性・40歳以上                            | 2年に1回                      |

がんによる死亡率を減らすためには「早期がん」で見つけることが重要です。定期的にこれらのがん検診を受けることにより、早期がんを発見でき、適切な治療によってがんによる死亡率を減らせることが科学的に証明されています。

がんは早期のうちには自覚症状がほとんどありません。また、多くのがんは早期がんで発見できる期間がわずか1～2年です。そのため、がん検診の対象年齢になったら、定期的ながん検診を受けましょう。

## Add Info

がん検診の結果が「異常あり」だった場合は、必ず精密検査を受けることが大切です。それによって早期がんの発見が可能になります。



各自治体では、健康増進法に基づき、大腸がん・肺がん・胃がん・子宮頸がん・乳がんなどの検診を、安価または無料で実施しています。

早期発見につながるこの制度、使わないのはもったいないですね。この機会に制度を上手に活用して、「がん検診」を毎年の安心習慣にしてみませんか？

## Contents

|                      |   |                          |   |
|----------------------|---|--------------------------|---|
| 必ず受けてたい5つのがん検診 ..... | 1 | 「ポスト2025」健康保険組合の提言 ..... | 4 |
| 2025年度 決算のお知らせ ..... | 2 | シャープ健保de健康エール .....      | 4 |
| 特定健診は毎年受診しましょう ..... | 3 | 健康保険料等に関するお知らせ .....     | 4 |

健康保険組合への各種届出用紙がホームページからダウンロードできます。郵送料の削減にご協力ください。

<http://kenpo.sharp.co.jp/>